

# 2007年3月期

## 中間決算説明会

2006年11月14日

丸ビルコンファレンススクエア8階「Room 4」



(羽田空港 南ピア増設工事)

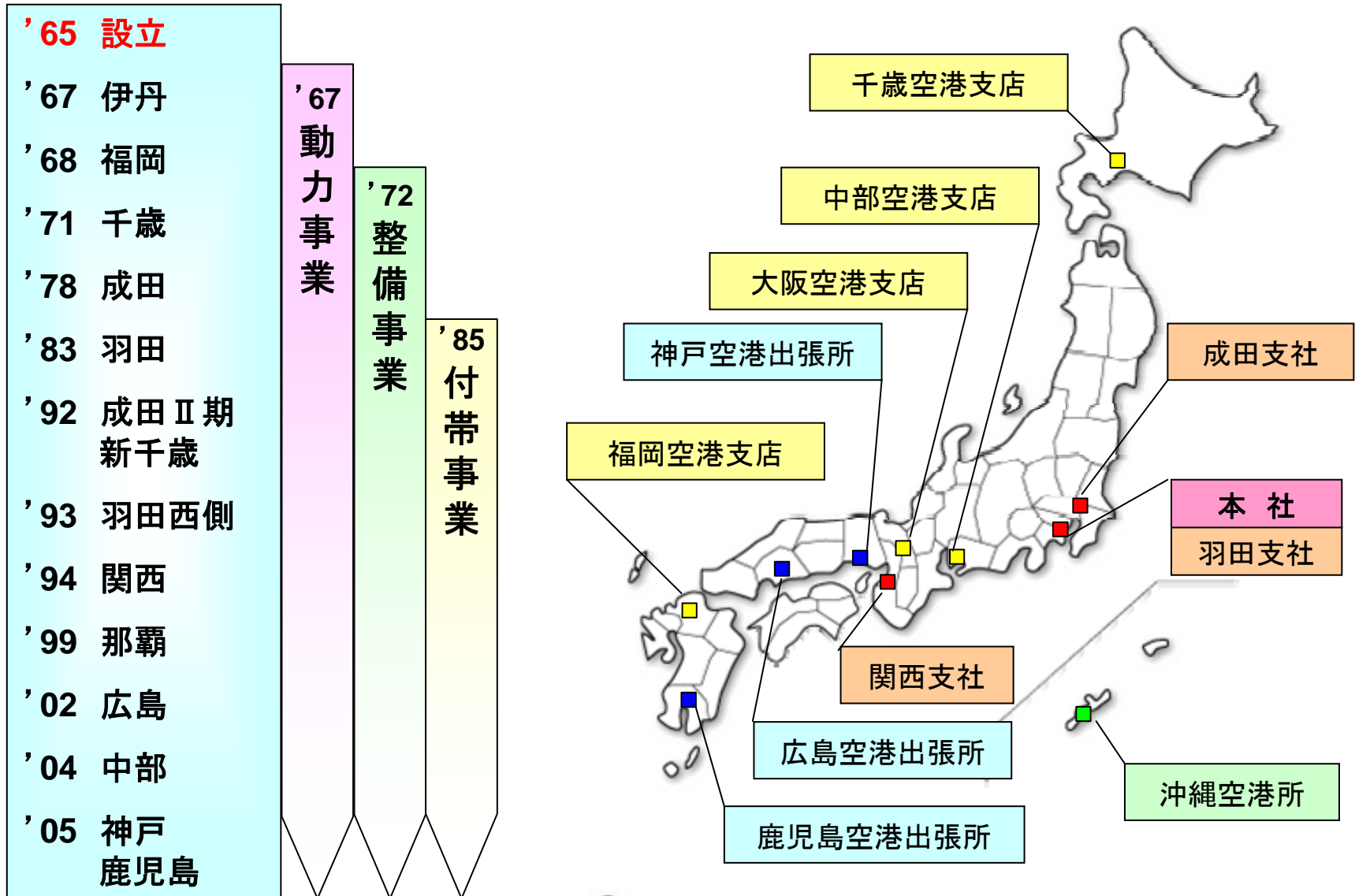
株式会社エージーピー

# 目 次

---

- 当社事業の概要
- 2007年3月期 中間期活動概要(連結)
  - ・業績予想の修正
  - ・中間期業績の概況
  - ・当社を取り巻く事業環境
  - ・空港整備計画と当社の取り組み
- 中間期業績報告(連結)
  - ・トピックス
  - ・業績の概要
  - ・通期業績見通し

# 当社発展の軌跡

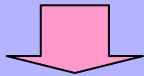


# 当社の事業概要

## 動力事業



APU (Auxiliary Power Unit)



GPU (電力供給)

## 整備事業



手荷物搬送設備 (BHS)



旅客搭乗橋 (PBB)

## フードカート事業



(当社製) 保冷・加熱カート



(他社製) 温冷配膳車

# 業績(中間・通期)予想の修正

- 10月26日付で、下記のとおり業績予想の修正を実施しました。

## 中間期業績(連結)

(単位:百万円)

	当期計画	当期実績	前期実績
売上高	4,969	5,098	4,807
経常利益	57	284	151
中間純利益	28	152	342

## 通期業績(連結)

(単位:百万円)

	当期計画	当期修正予想	前期実績
売上高	10,573	10,865	10,545
経常利益	498	716	654
当期純利益	259	390	751

# 当社を取り巻く事業環境 (動力・整備)

## ■ 航空業界

原油価格の高止り

動力にはプラス

整備にはマイナス

## ■ 空港整備計画

2006年6月

成田空港  
1ビル5サテ等  
(13スポット)  
供用開始

2007年3月

羽田空港  
南ピア  
(5スポット)  
供用開始

2009年末

羽田空港  
国際線ターミナル  
(21スポット)  
供用開始

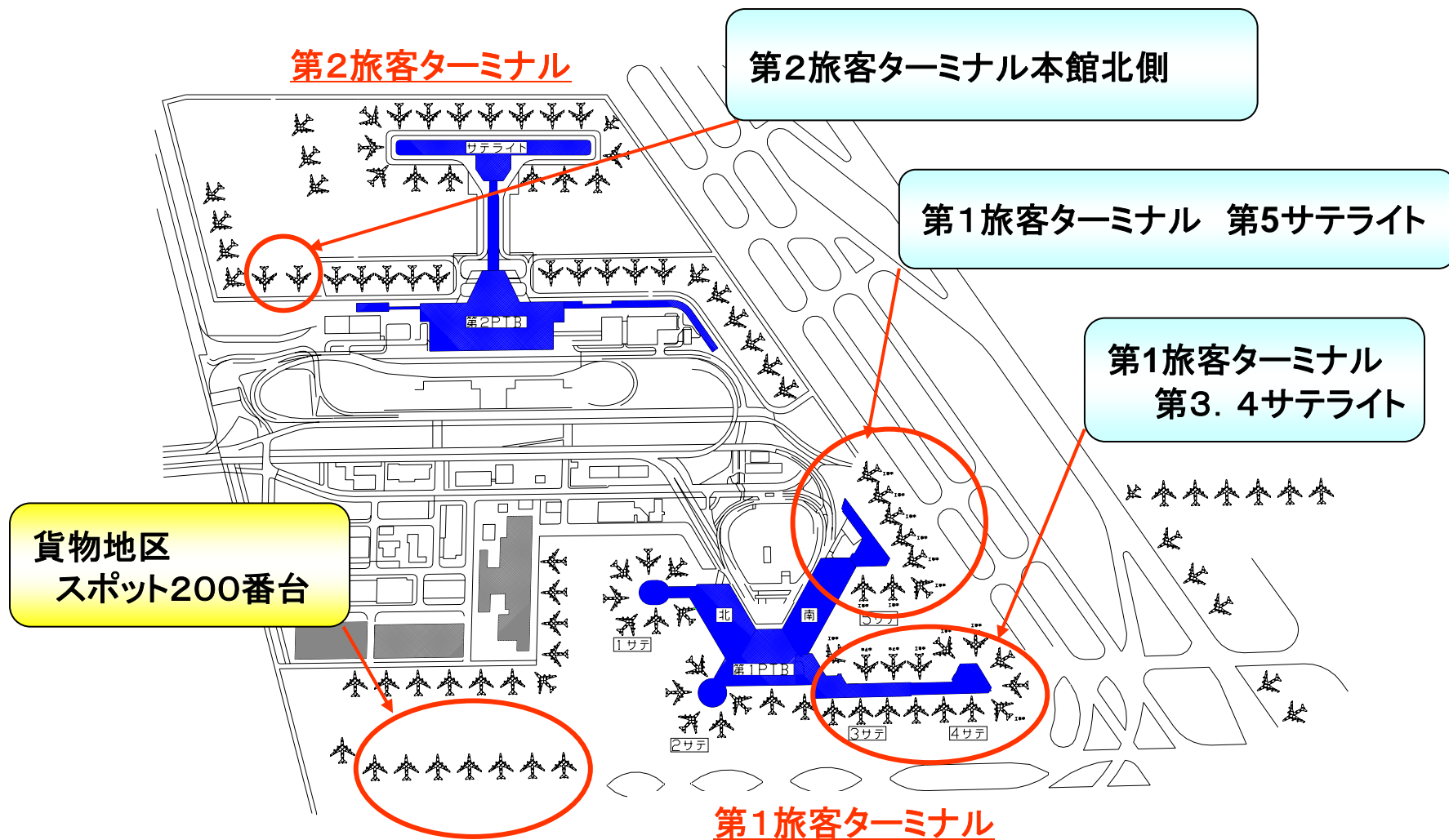
2009年度

成田空港  
平行滑走路  
の2500m化

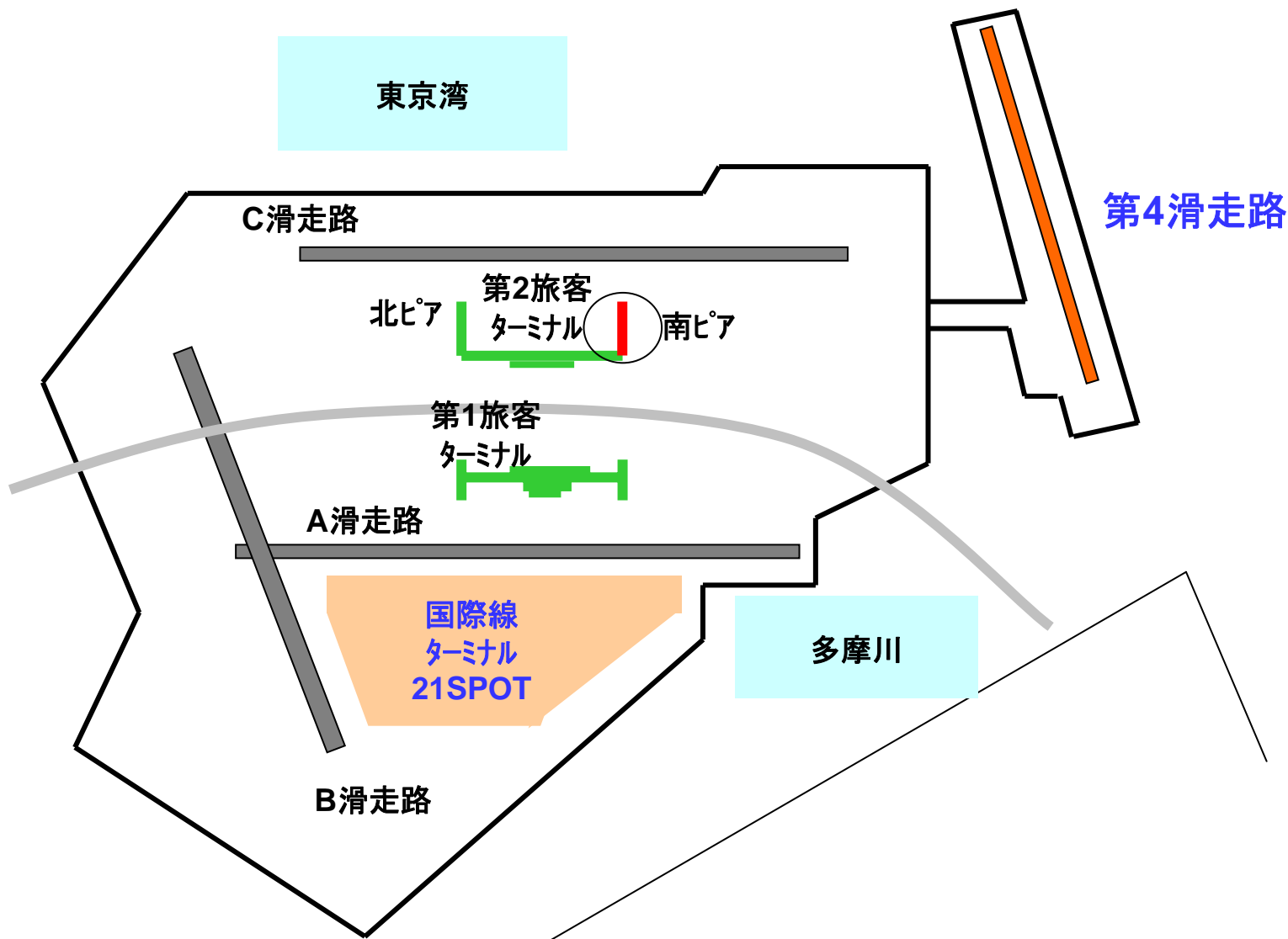
2009年末 羽田空港第4滑走路供用開始  
羽田空港の再拡張⇒年間発着枠1.4倍に

本格的な事業拡大路線へ！

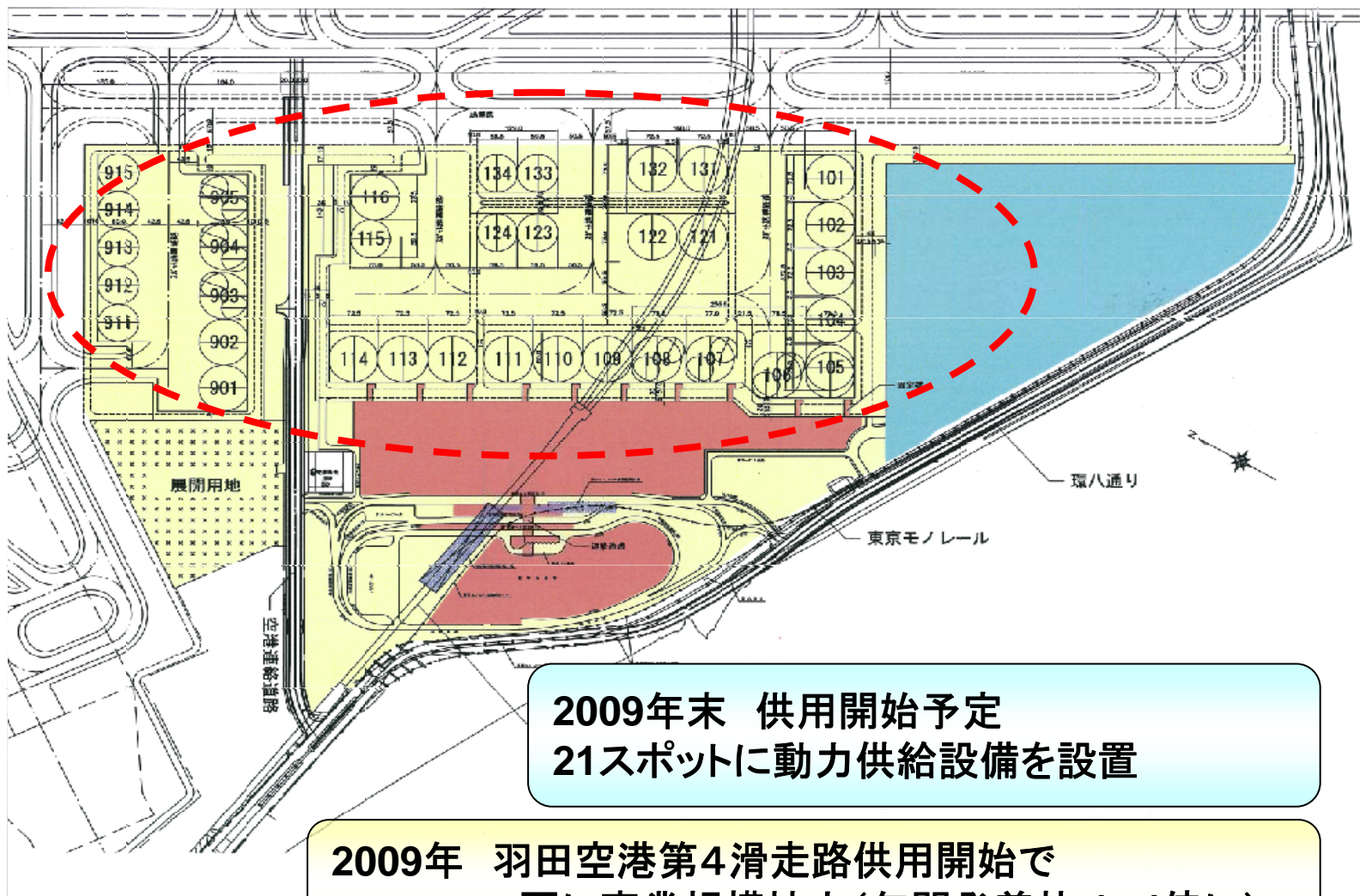
# 成田空港拡張概略図



# 羽田空港再拡張概略図



# 羽田空港 国際線ターミナル



2009年末 供用開始予定  
21スポットに動力供給設備を設置

2009年 羽田空港第4滑走路供用開始で  
更に事業規模拡大(年間発着枠 1.4倍に)

# GPUを使用したことによる環境に対するメリット

## 燃料の削減

(2005年度実績)

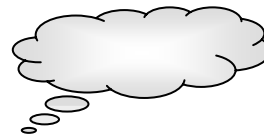
- ・B777-200で年間約7,000往復相当  
(12万キロリットル)の燃料を削減



## CO<sub>2</sub>の削減

(2005年度実績)

- ・東京ドーム 127杯相当  
(年間30.8万トン)のCO<sub>2</sub>を削減



## 騒音の低減

- ・APUの騒音を抑え、  
空港周辺地域との共生



エコ  
エアポート化に  
貢献

# 当社を取り巻く事業環境 (付帯)

## ■ 学校、病院、介護・福祉分野

各種規制緩和による、アウトソーシング化の拡大

食の安全追求

美味しさの要求

給食システムの改善が進展

- ・クックチルシステム
- ・セントラルキッチン方式

作業効率の向上

改善の進展により、市場ニーズは確実に上昇

# 2007年3月期 中間期業績報告

## 2007年3月期 Topics

### TOPICS

06年2月 : 神戸空港 動力事業進出(移動式GPU)

3月 : 鹿児島空港 動力事業進出

---

06年6月 : 成田空港 第1PTB第3、4、5サテライト供用開始  
(計13スポット)

8月 : 成田空港 第2PTB 76・77番スポット供用開始

9月 : 新バンコク国際空港(スワンナプーム)開港 : BHS技術支援  
: 中部国際空港(株)向け動力設備機材等 受注(3スポット)

11月 : 神戸空港 固定式GPU供用開始(4スポット)予定

## 2007年3月期 中間期業績

(単位:百万円)

	前期実績	当期実績	対前期比 増減
<b>売上高</b>	4,807	5,098	290
売上総利益	577	725	148
販管費	381	403	22
営業利益	196	321	125
営業外損益	▲44	▲37	7
<b>経常利益</b>	151	284	132
特別損益	445	▲3	△449
税引前中間期純利益	597	280	△316
<b>中間期純利益</b>	342	152	△190

(注)百万円未満は切り捨てにより表示

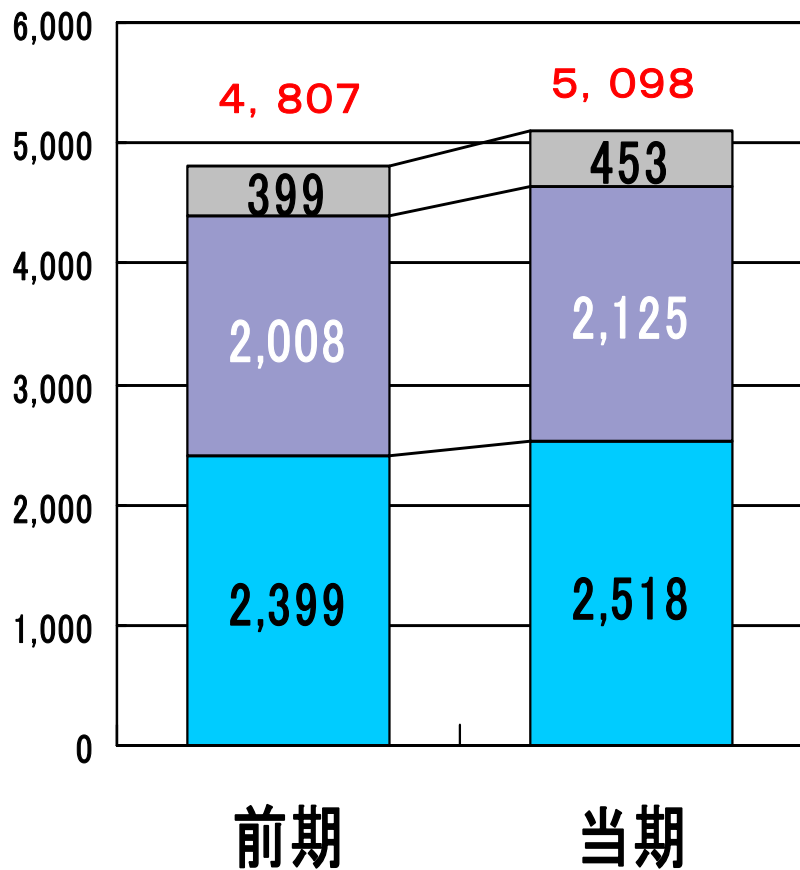
# 売上高 (中間期計)

5,098百万円

前期比 290 (106.0%)

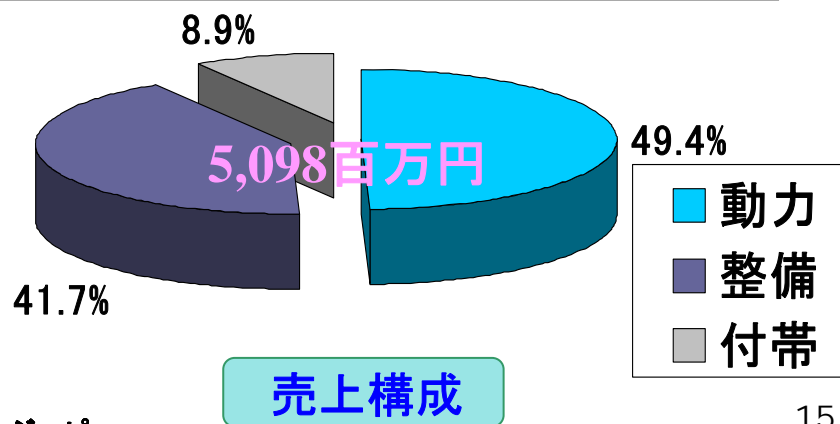
(単位:百万円)

■ 動力事業 ■ 整備事業 ■ 付帯事業



<増減要因>  
(増加)

動力事業	+118
整備事業	+117
付帯事業	+54
<b>計</b>	<b>290</b>

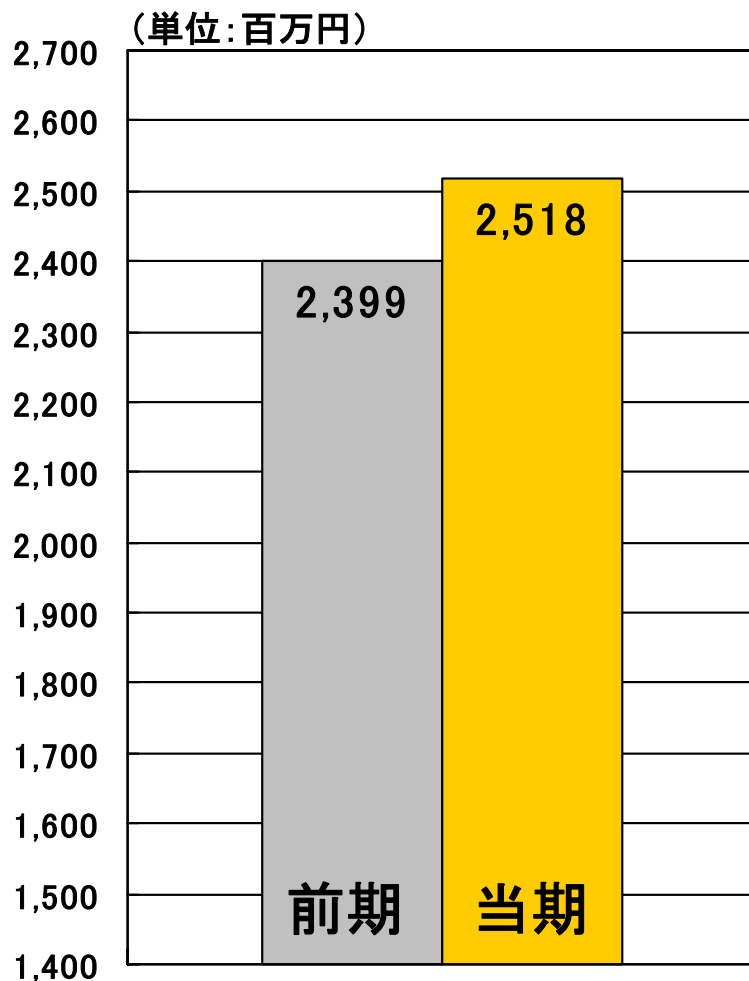


(注)百万円未満は切り捨てにより表示

# 売上高 ① 動力事業

2,518百万円

前期比 118 (104.9%)



## <主な増減要因>

### (増加)

成田	+107	設備増および 外国社等への 供給増
羽田	+10	増便
鹿児島	+10	新規進出
神戸		
沖縄	+7	増便
千歳	+6	増便

### (減少)

伊丹・福岡	△20	小型化、減便
-------	-----	--------

(注)百万円未満は切り捨てにより表示

# 動力料金の変更による影響

## 動力料金変更の目的

- ・比較的駐機時間の短い小型機等が、より使用しやすい仕組みや価格に変更する。
- ・新動力料金体系を営業ツールとして航空会社への働きかけを強化し、収益の拡大を図る。

## 新料金へ変更による効果

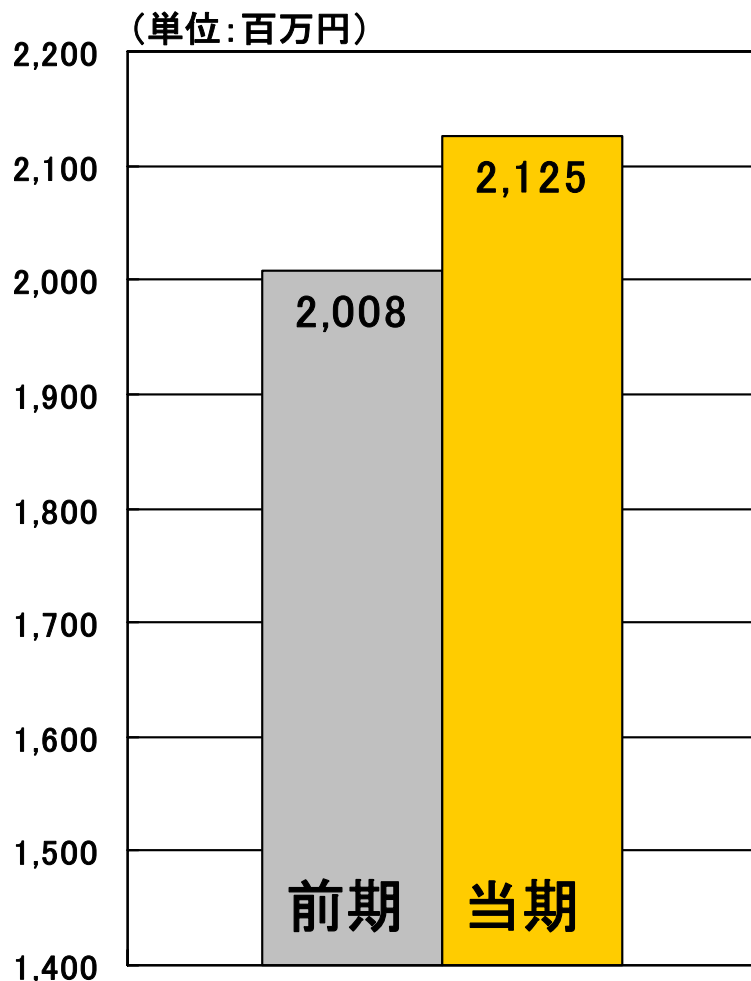
- ・実質的な値下げ効果と原油価格の高止りや環境意識の高まりにより、GPU使用が拡大
- ・成田・関西空港を中心に外国航空会社の使用も拡大

\* 値下げ分を上回る増収

# 売上高 ② 整備事業

2,125百万円

前期比 117 (105.8%)



## <主な増減要因>

### (増加)

関西	+81	BHS増強工事等
成田	+53	PBB新規受託、 設備改修工事の増
福岡	+6	設備改修工事の増

### (減少)

沖縄	△13	PBB補修工事
羽田	△10	保守管理業務の 一部終了

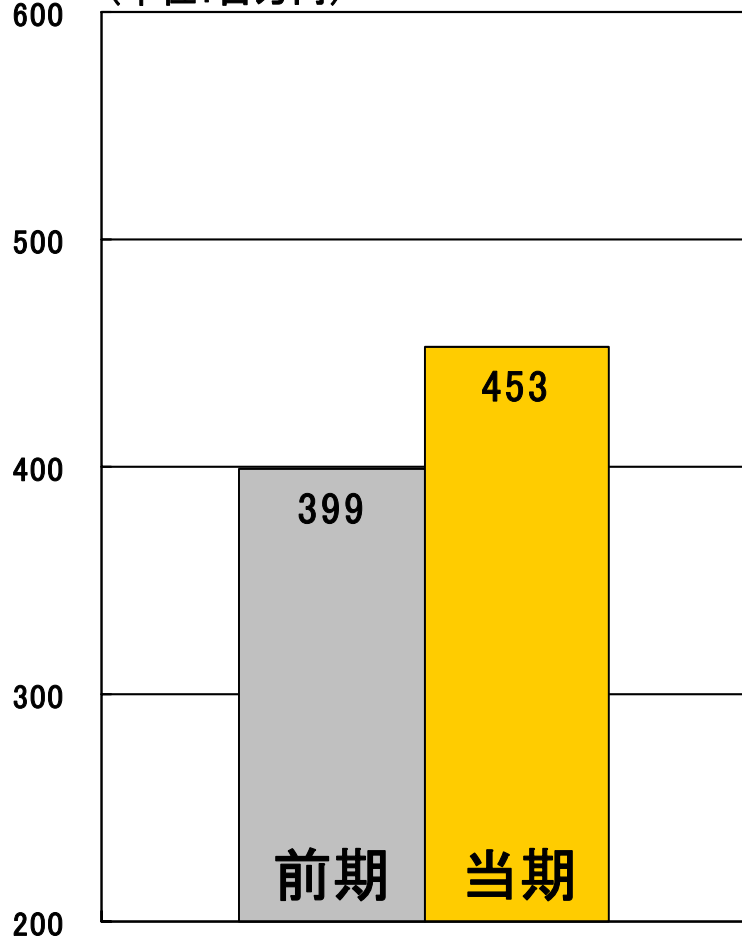
(注)百万円未満は切り捨てにより表示

# 売上高 ③ 付帯事業

453百万円

前期比 54 (113.7%)

(単位:百万円)



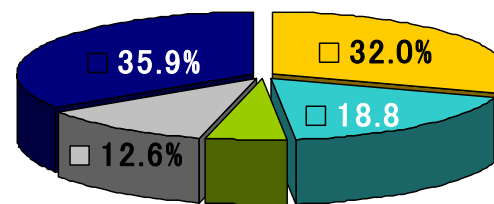
## <主な増減要因>

### (増加)

- フードカート販売 +53
- 成田 +11    ハイジャック防止装置 (X-Ray)等の保守改修
- 関西 } +8    バンコク技術支援
- 中部 }

### (減少)

- 航空会社向け冷暖房車の販売 △18



- フードカート
- 航空機部品管理
- GSE
- 技術支援等
- その他

[売上構成]

(注)百万円未満は切り捨てにより表示



株式会社 エーピー

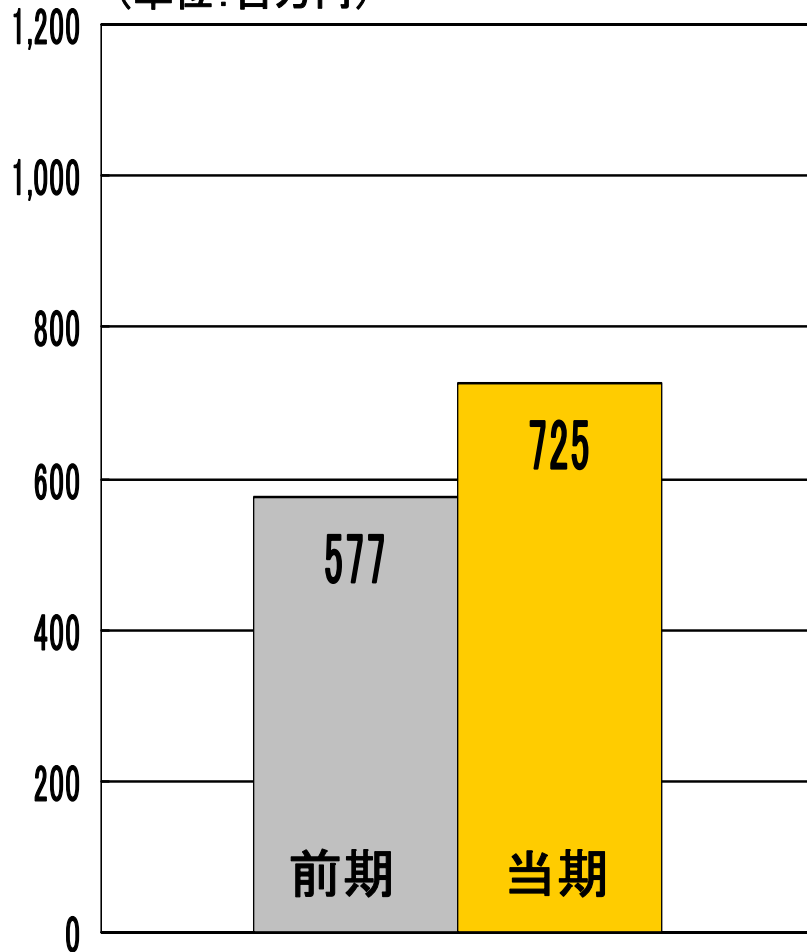
0.6%

# 売上総利益（中間期）

725百万円

前期比 148 (125.7%)

(単位:百万円)



## <セグメント別 主な増益要因>

[動力事業 25]  
[整備事業 106]  
[付帯事業 16]

減価償却費  $\Delta 83$   
退職給付費用  $\Delta 33$   
(制度変更による)

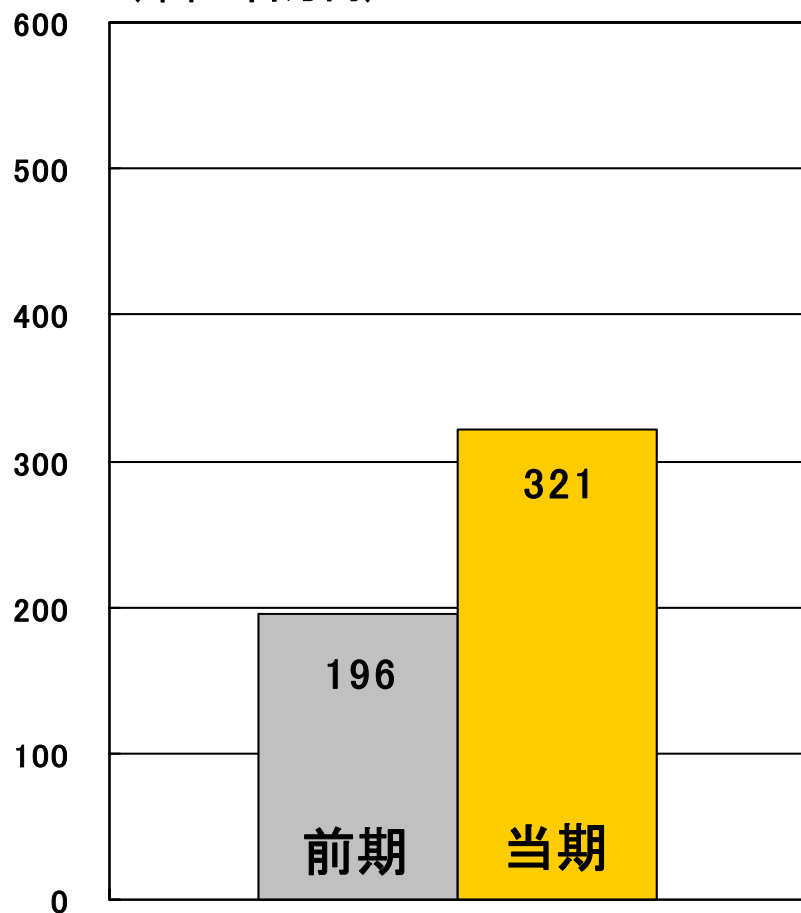
(注)百万円未満は切り捨てにより表示

# 営業利益（中間期）

321百万円

前期比 125（163.8%）

（単位：百万円）



## <増減要因>

売上総利益の増 +148

販売費および  
一般管理費の増 +22

（注）百万円未満は切り捨てにより表示

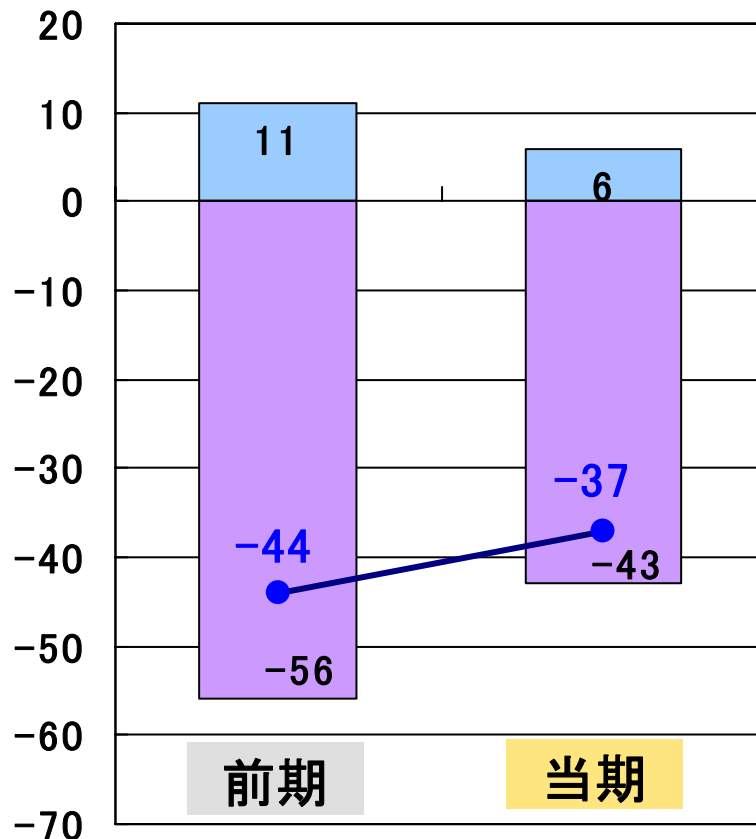
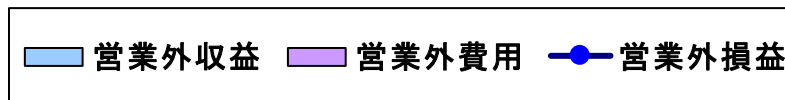
# 営業外損益と経常利益（中間期）

## 営業外損益

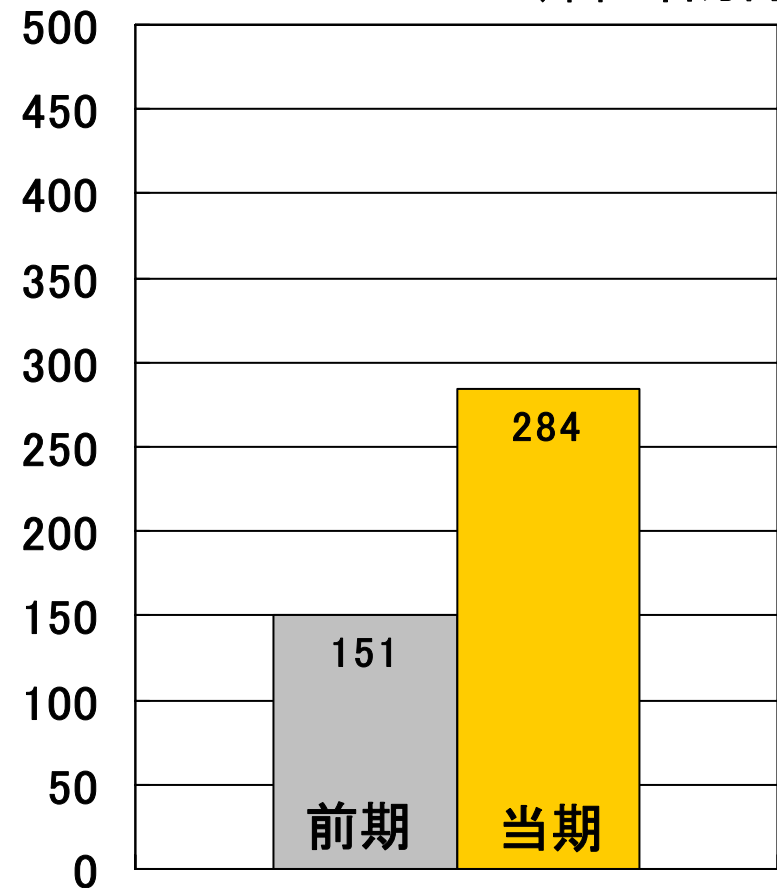
▲37 百万円 前期比 +7

## 経常利益

284 百万円 前期比 +132



(単位:百万円)



(注)百万円未満は切り捨てにより表示

# 2007年3月期 中間期業績(要約)

(単位:百万円)

	前期実績	当期実績	対前期比 増 減
売上高	4, 807	5, 098	290
売上総利益	577	725	148
販管費	381	403	22
営業利益	196	321	125
営業外損益	▲44	▲37	7
経常利益	151	284	132
特別損益	445	▲3	△449
税引前中間純利益	597	280	△316
中間純利益	342	152	△190

(注)百万円未満は切り捨てにより表示

# 2007年3月期 通期業績見通し

# 2007年3月期 売上高（見通し）

10,865百万円

前期比+320

（単位：百万円）

セグメント	売上高	要 因
動力事業	5,088	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国航空会社等への売り上げは引き続き順調</li> <li>・中小型機への販売促進を強化</li> </ul>
整備事業	4,667	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備、改修工事等の受託は計画どおりに推移</li> </ul>
付帯事業	1,109	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動力設備機材等の販売、技術支援業務は堅調</li> <li>・フードカート販売は引き合い順調も競争は激化</li> </ul>
合 計	10,865	

（注）百万円未満は切り捨てにより表示

# 2007年3月期 通期業績予測

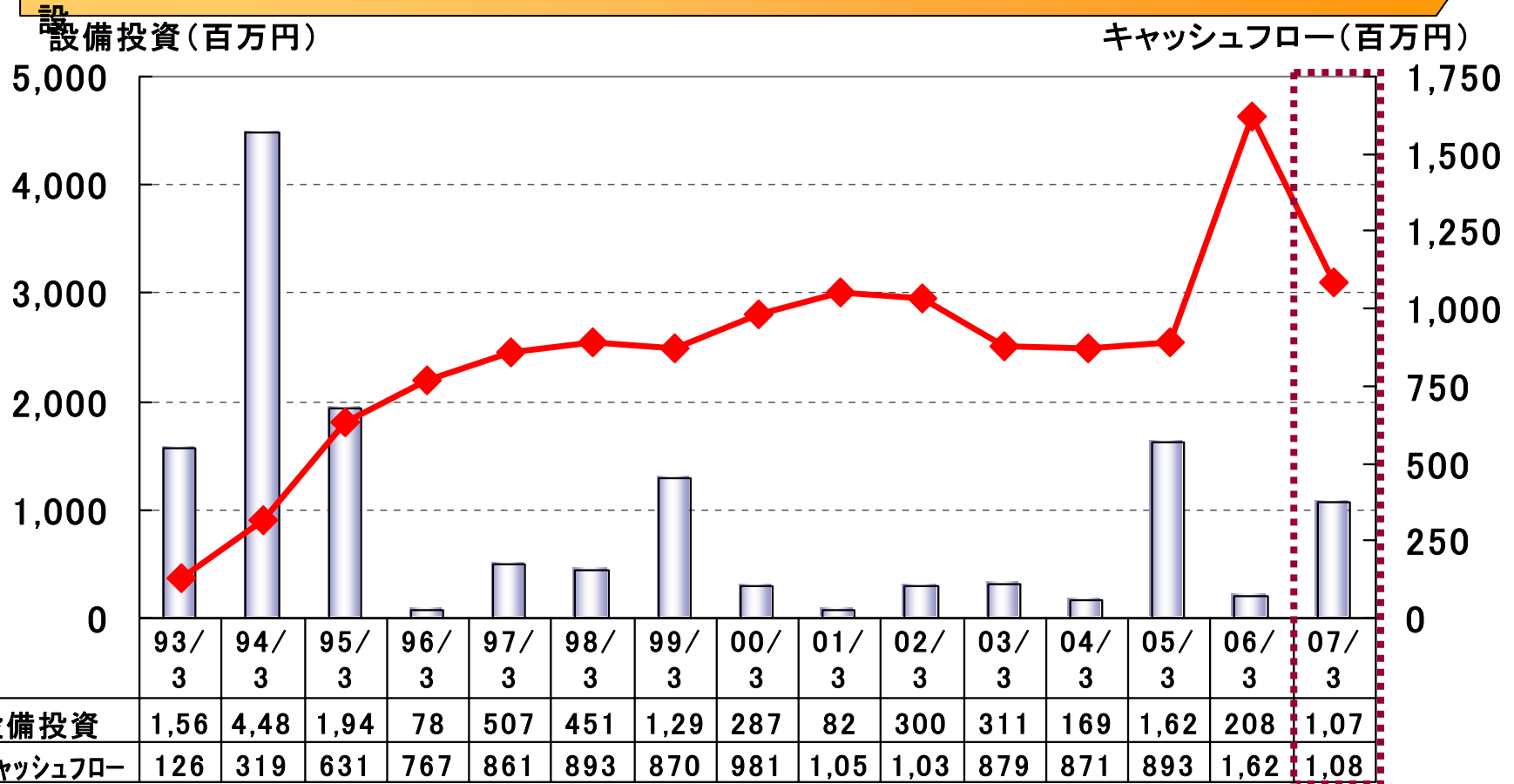
(単位:百万円)

	前期実績	当期予測	対前期比 増 減
売上高	10,545	10,865	320
営業利益	747	790	43
経常利益	654	716	61
特別損益	644	▲7	△651
税引前当期利益	1,299	709	△589
当期純利益	751	390	△361

(注)百万円未満は切り捨てにより表示

# 設備投資とキャッシュフロー

'93/3 新千歳・成田Ⅱ期増設 '94/3 羽田西側新設 '95/3 関西新設 '99/3 那覇新設  
'03/3 広島新設 '05/3 羽田第2PTB新設 '06/3 神戸・鹿児島新



(注) 00/3より連結決算を開始、93/3～99/3は単独ベース

(注) 百万円未満は切り捨てにより表示

キャッシュフロー＝「当期純利益」＋「減価償却費」

本日は、弊社決算説明会にご参加いただき  
ましてありがとうございます。

本日配布いたしました資料に記載されている  
将来の業績予想は、経営環境の変化などに  
伴い予想あるいは目標対比が変化し得ることに  
ご留意ください。

## お問合せ先

株式会社エージーピー 総務部 広報・IRグループ

電話:03-3747-1631

FAX:03-3747-0707

URL: <http://www.agppgroup.co.jp>

(会社案内ビデオがご覧いただけます)

